

幕別町立糠内中学校



校長 田中 幹也

生徒数 12名

～「小・中連携によるICTの活用の推進」～

本校は、生徒に義務教育9年間を通じて育成を目指す資質・能力を育むため、小中一貫教育を通して、ICTを活用した授業改善及び業務改善に組織的・計画的に取り組む、大きな成果を上げている。

特に、中学校区の小学校と連携し、ICTを活用した授業実践の交流や、外部講師を招聘し、小・中学校の全教職員を対象に教科の学びを深めるための1人1台端末の活用に係る学習会を設定するなど、教師の指導力の向上に努めている。

また、校内のスケジュールや連絡事項、会議における資料等をクラウド上で一元管理するなど、教職員の打合せや職員会議、校務分掌に係る業務の効率化を図る取組を推進しており、管内教育の発展に寄与する実践として高く評価されている。

新得町立新得幼稚園



園長 鈴木 貞 行

園児数 18名

～「幼保小連携の推進」～

本園は、小学校段階を見据えた「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を育むため、幼保小連携の充実に向けた実践に組織的・計画的に取り組み、大きな成果を上げている。

特に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を「生活する力の芽、学ぶ力の芽、人とかかわる力の芽」の「3つの芽」として具体的に設定した「新得町アプローチカリキュラム」を作成し、小学校におけるスタートカリキュラムとの接続を図るなど、小学校との円滑な接続に努めている。

また、小学校職員の「施設訪問・交流」を設定し、「3つの芽」を基に情報交流を行うなど、小学校の新入学児童に対する実態把握を促す取組を推進しており、管内教育の発展に寄与する実践として高く評価されている。

北海道帯広三条高等学校



校長 合浦英則

生徒数 707名

～魅力ある高校づくりの実施～

本校は、令和3年度から「北海道 CLASS プロジェクト」の指定を受け、社会に直結した学びを展開するため、総合的な探究の時間のプログラム開発、及び地域コーディネーターを活用した外部体験型教育プログラムの構築に取り組み、大きな成果を上げている。

特に、主体的・対話的で深い学びを実現するため、教育活動の可視化と各教科のシラバス改善を進め、個別最適な学び及び教科等横断的な学びを改善することで、授業の質的転換と向上に繋げている。

また、探究コンソーシアムを設置し、教育課程の中で地域（教育機関や自治体、地元企業等）と協働した教育活動を展開し、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた取組を先進的に行っており、管内教育の発展に寄与する実践として高く評価されている。

北海道鹿追高等学校



校長 俵谷俊彦

生徒数 122名

～地域資源を活用した教育課程内・外の探究学習の実施～

本校は、鹿追町の自然や施設をはじめ、地域住民や北海道大学の教員を指導者とし、生徒が身に付けるべき資質・能力を育成するため、探究的な学びを行う「鹿追創生プロジェクト」を軸とした活動に取り組み、大きな成果を上げている。

特に、令和3年度から「国際探究コース」を設置するとともに、中高一貫教育の強みも活かし、中高における英語力早期強化の一環として、カナダへの短期留学を行うなど、鹿追町と連携した教育課程の編成を行っている。

また、外部講師による部活動の指導や、道内外の大学生による個別指導形式のオンライン公設塾の実施等を通して、個別最適な学びの保障に取り組んでおり、管内教育の発展に寄与する実践として高く評価されている。